# CSR

企業の社会的信頼

今日、企業はその存在を問われています。不祥事や地球環境問題も一因ですが、より本質的には社会における役割の再考が求められているのではないでしょうか。
今一度企業の社会的役割を考え、社会に信頼を築く取り組みを始めてみませんか。

## CSR 京都への入会のご案内

― 信頼を築く経営のすすめ ―

### 京都 CSR 推進協議会

京都 CSR 推進協議会は、中小企業や小規模事業者の CSR（企業の社会的責任）の取り組みを促進・支援することを目的に、京都の経済団体や中間支援組織、行政が協力して 2011 年４月に発足した団体で、「CSR 京都」は愛称です。CSR 京都では、CSR を「企業が社会の『信頼』を得る取り組み」と捉えて、本業を軸に、企業の重要な関係先である顧客、取引先、社員、地域社会などとの間に信頼を築く経営を提唱しています。

事業所数の大部分を占める中小企業や小規模事業者と、そこに働く人々のパワーの大きさは計り知れません。企業と社員が一丸となって信頼を得るための活動に取り組むことによって、会社の持続的な発展はもとより、地域社会の再生にもつながると考えます。

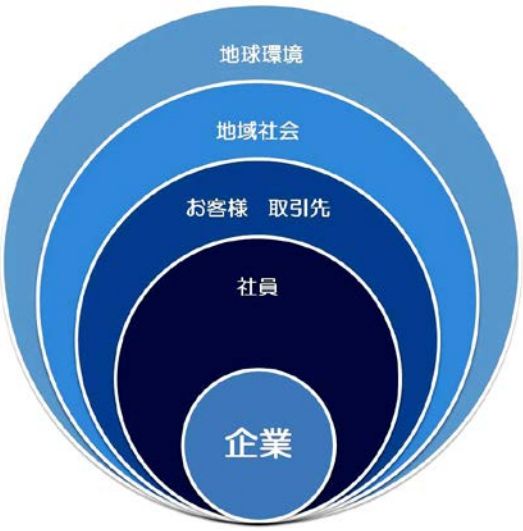
CSR 京都は、最初の一歩の取り組みから、ウェブサイトでの「見える化」、自己診断的な手法まで、具体的な支援策を提供します。CSR に関心をお持ちの企業は、所属する経済団体など、または京都 CSR 推進協議会事務局へお問い合わせください。

〔CSR 京都の運営組織〕（50 音順）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 京都経営者協会 | 京都中小企業家同友会 | 京都府社会福祉協議会 | 京都高度技術研究所 |
| 京都工業会 | 京都府中小企業団体中央会 | CSR プラットフォーム京都 | 京都産業２１ |
| 京都商工会議所 | | | 京都市 |
| | | | 京都府 |

## ■信頼を築くことで経営を確かなものにしましょう

経営にとってお客様や取引先は何よりも大切なもの。社員も同様に大切です。お客様、取引先、社員、…こうした関係先の信頼を得てこそ、事業を継続することができます。製品やサービスをよりよいものにする、職場環境をよくして社員の満足度を高める、環境の保全に取り組む、…こうした信頼を築く取り組みは、自社にかかわるさまざまな事柄をよくしていく取り組みでもあります。それは、地域社会をよくしていくことにもつながります。ものをつくる、サービスを提供する、という日々の事業の中で、こうした「信頼」を築く取り組みを「かたち」にして「見える化」しましょう。




## ■「見える化」を支援します

小さなことの積み重ねが大切です。一歩一歩積み重ねていき、それを「かたち」して「見える化」すれば、関係先、特に社員と共有でき、年々の取り組みの向上も図れます。CSR 京都は、ウェブサイトやパンフレットで取り組みを「見える化」し、社会の信頼を得るための取り組みを支援します。まずは参加して、第一歩を踏み出してみましょう。

## ■「社会の信頼を築く基本指針」が第一歩

大切にすべき事柄はたくさんあります。それらを、まわりの関係先から地球環境へと広げていきながら整理したのが「社会の信頼を築く基本指針」です。参加するには、この「基本指針」の趣旨に賛同することから始まります。

基本指針は５つの項目からなっています。

社会・環境との共生をめざす五つの理念のもと、
社会と地球の持続可能性に寄与します。

一　信頼は経営の要です。
法をまもり、社会から信頼を得ることをめざします。

一　人は経営の礎です。
働く人を大切にし、快適で安全な働く場をつくります。

一　誠実は経営の柱です。
取引先を尊重し、良質で安全･安心な商品とサービスを提供します。

一　地域社会は伝統を育む器です。
地域社会の良き一員として貢献することを目指します。

一　自然は私たちの財産です。
地球環境の保全に努め、次の世代につなぎます。

基本指針は福祉施設が牛乳パックを回収してすいて作った紙に印刷しています。

すべての項目にわたって今すぐ具体的に取り組まなければならない、ということではありません。まずは趣旨に賛同し、第一歩を踏み出して、歩きながら、一緒に考えながら、一歩一歩進めていきましょう。

## ■取り組み方と支援メニュー

**1 基本指針への賛同と署名**

■「社会の信頼を築く基本指針」に署名します。

セミナーの受講（支援）

全社で協議・共有

セミナーの受講

■すでに信頼を築く経営に取り組んでいる企業は、「取り組みレポート」の作成に進みます（セミナーの受講も可能です）。

■これから取り組む企業は、セミナーの受講や社内での協議を経て、レポートの作成に向かいます。

▹セミナーで最初の一歩から導きます（個別支援は有償となります）。

**2 取り組みレポートの作成**（支援）

■「取り組みレポート」を作成する過程で、自社にあった取り組みを模索したり、現在の取り組みを確認したり、次へのステップを検討したりします。

▹セミナーなどを通して作成過程で支援します（個別支援は有償となります）。

**3 取り組みレポートの公開**（支援）

■作成した「取り組みレポート」をCSR京都ウェブサイト上に公開します。

▹ウェブサイトに公開スペースを用意しています。

**4 自社パンフレットの作成と活用 求人情報の掲載**（支援）

▹自社パンフレットを作成できます（有償）。

▹求人情報をウェブサイトに掲載できます（有償）。

**5 自己診断・評価**（支援）

■取り組みを振り返り、自己診断、自己評価をします。

▹分析・診断ツールを提供します（分析・診断セミナーは有償となります）。

次年度へ

## ■参加のメリット

**信頼**

CSRを企業の社会的信頼と捉えて、事業を軸に、顧客や取引先、社員とその家族、地域の人々、そして地球環境を大切にし、信頼を築く経営を目指します。

■信頼を築く取り組みが信用度や知名度を高めます。

■社員への働きがいの提供で、満足度が高まります。

■社会からの信頼が企業の存続につながります。

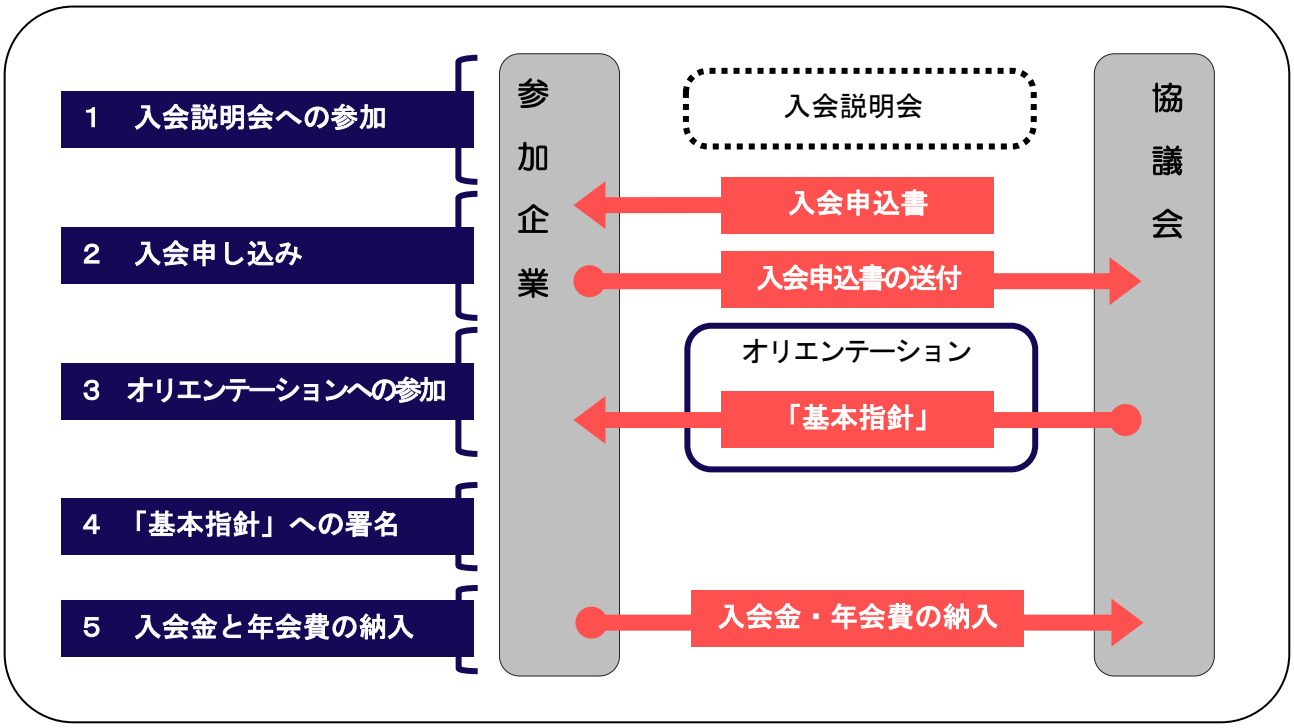
**見える化**

取り組みの現状や将来のありたい姿をレポートで“見える化”し、社員との共有はもとより関係先への理解を図ります。

■レポートとウェブサイトによる「見える化」が、取り組みの継続につながります。

■社員とその家族もレポートの重要な読者です。求心力が深まります。

## ■参加のしかた（入会手続）




### 1　入会説明会への参加

- 入会説明会では、CSR の考え方、取り組みの仕組みや支援内容の説明を行います。説明会への参加が難しい場合は個別にお問い合わせ下さい。
- 入会できるのは、京都府内に本社又は事業所を有して事業を行う個人または団体です。

### 2　入会申し込み

- 入会申込書を CSR 京都ウェブサイトからダウンロードして所定事項を記入し、協議会事務局にメール添付で送付します（メール添付が難しい場合は郵送または FAX でも結構です）。
- 入会には、京都 CSR 推進協議会の運営組織（表紙に記載の行政を除く経済団体など）の推薦が必要ですが、該当する所属団体がない場合でも可能です。詳しくは協議会事務局にお問い合わせ下さい。

### 3　オリエンテーションへの参加

- 入会申し込みをされた企業を対象に、社会の信頼を築く基本指針、入会後の取り組みの流れなどについて説明するオリエンテーションを開催します。
- 開催日時、場所等は入会申し込み企業にご案内します。
- オリエンテーションで社名入りの「社会の信頼を築く基本指針」をお渡しします。

### 4　「基本指針」への署名

- 「社会の信頼を築く基本指針」に、代表者の方に署名いただきます。

### 5　入会金と年会費の納入

- 入会日の翌月の末日までに、入会金と年会費の納入をお願いします。
- 入会金は 3,000 円、年会費は 6,000 円です。年会費は次年以降は年度単位となります。


**お問合せ先**

京都 CSR 推進協議会事務局

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町 134 番地
公益財団法人京都高度技術研究所内
TEL：075-366-5335　FAX：075-366-5529
Email：info@csr-kyoto.net　Website：http://csr-kyoto.net


（160721 ver.3.0）